

令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告

1. 本園の保育理念

- キリスト教自由保育の理念に基づいて、子ども一人一人は神さまから愛されているかけがえのない存在として捉えます。
- 私たちは全て、一つの命として繋がっています。そんな世界で共に生きることを通して、自分を愛し、他者を愛する自由で主体的な人間へと育ちゆく子どもたちを支えます。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己評価を実施することによって、保育者・職員自らが客観的に自園を見る目を養い、さらに教育内容を確認することにより自己評価を積極的に取り組んでいくことを本年度の重点項目としました。

3. 評価項目達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の保育理念に従って編成する。	全職員で新教育要領 5 領域 10 の姿と保育理念・保育方針の具体的な展開を継続検討し、教育課程の編成にあっています。
教育要領、教育課程について、子どもの実態などをもとに考えて作成する。	毎年指導計画をもとに P D C A サイクルを意識した訂正を行い、子どもの成長に即した週・月ごとに見直しを行い、個々に寄り添う保育となるよう努めています。
教育の質の向上のために園内研修を充実させる。	外部より講師を招き、定期的に、子どもの発達の姿や遊びを見る目を養うための研修を行っています。
学期ごとに各クラスの運営の成果と課題を報告する。	各クラスでの学期や週目標を定め、学期月ごとに達成状況等の情報共有及び研鑽を図っています。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に提供する。	可能な限り研究会は全職員で参加し、共通認識を持つようにします。また、個別参加の場合は、発表の機会を設け、情報共有並びにプレゼン能力向上を図っています。
園だよりやクラスだよりを通し園内の情報を発信している。	園の保育目標や取り組みを園だより等に記載すると共に、ドキュメンテーションの掲示やインスタグラム等を活用し、積極的に情報発信を行っています。

評価項目	取り組み状況
保護者のニーズや把握に努め、要望や苦情に適切に対応している。	保護者との懇談会をクラス及び地区単位で、定期的を実施し、子どものために園と家庭が相互理解を図り、協力関係がとれるように取り組んでいます。
園の保育や財務状況を積極的に公開する。	園の保育理念や取り組み、財務情報について、ホームページにて適切に情報開示するように取り組んでいます。

4. 学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

評価結果 A
学校評価の趣旨を理解し、自己の保育を自ら振り返り、さらに質を高めるため、園全体及び学年における自己点検、自己評価に取り組んでいる姿が見られました。一方、保護者アンケートでは評価内容に差異があり、保護者満足に当たる部分も含めて評価が下がっている現状があり、自己評価と保護者の評価が乖離する要因を分析し、園の運営及び保育の課題に対応できるよう努めていきます。評価結果については、概ね目標を達成できていると判断しています。

5. 今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園理念を具体化した保育活動	今後は保育者、保護者が共有できる理念を深め、理念に沿った保育の具体化を行っていきます。
保育者と保護者の理念の共有	懇談会だけでなく積極的に保護者との相互通行の意思疎通を行い、保育者と保護者とで幼稚園理念の共有を図り、理念の具体化と並行して、園の理念の普及に努めます。
特別支援教育	個別の指導計画の作成を検討するとともに、臨床心理及び医療福祉の関係機関との連携を図ります。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神、保育理念・方針を基本に、保護者のニーズを踏まえ、個々の園児に必要な保育を熟考し、保護者等との相互理解を図る機会を設けて満足度を把握し、園のあるべき姿を模索していきます。

6. 学校関係者の評価

学校評価アンケート等において、教育活動、幼稚園経営、家庭・地域とのかかわりについて、概ねそう思うとの回答を得ており、妥当であるとの評価結果でありました。
--

7. 財務状況

監事監査及び公認会計士監査により、計算書類は適正に表示している旨の監査報告を受領しています。
--